

時間」を単純合計した数字では、小金井市が682人、東久留米市(1.043倍後)が635人となり、小金井市は47人も「水ぶくれ」していることとなります。

会計年度任用職員(月額)も含めた分析では、小金井市が1004人、東久留米市(1.043倍後)が808人ですから、196人の「水ぶくれ」です。

総論だけでなく、部課別の比較をさらに徹底し、さらなる行財政改革につなげていきたいと思います。

市職員の条例定数が多すぎる問題 削減求める陳情、不採択

11月30日、小金井市議会は、市民団体(こがねい情報公開市民会議)が提出した「市職員定数条例を改正し、正規職員の定数を削減することを求める陳情書」を、賛成10反対13の僅差で「不採択」としました。

現行条例では小金井市役所の正規職員の定数は790人となっています。正規職員の実数は677人ですので、その差

は113人となります。

実数に対して、若干の余裕をもって定数を定めること自体を否定するものではありませんが、113人も正規職員を増やす必要が生じるはずありませんし、現在は正規職員をいかに削減していくかが大きなテーマになっています。したがって、条例改正は必要だと私は考えます。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民会議(斉藤)。

陳情書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)、改革連合(篠原)。

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。以下同じ。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。以下同じ。

多すぎる議員定数問題 2減を求める請願 不採択を踏まえ、1減条例を議員提案

12月定例議会の最終日(12月21日)、小金井市議会は本会議を開催し、市民団体(議員定数削減の会)が1137名もの署名を添えて提出した「議員定数の削減を求める請願書」を採決に付しました。

採決の結果、請願書は、賛成11名、反対12名、の1票差で「不採択」となりました。

同請願書は、2021年3月に行われる小金井市議会議員選挙から、議員定数を現行より2減し「22」とすることを求める内容で、私も請願書の内容に賛同し、請願書の紹介議員になりました。

各党派各議員の採決態度は下の表の通りでした。

これまでは、議員定数削減に賛成の議員が10名(議長を除く)で、議員定数削減に反対の議員が13名でしたが、1人会派の「こがねい市民会議(斉藤議員)」が、12月14日に、削

減反対から削減賛成に方針を変えたことにより、削減に賛成が11名(議長を除く)、削減に反対が12名となりました。「あと1名」の議員が削減賛成となれば、議員定数の削減が実現できるところまで来たのです。

情報公開こがねい、自民党信頼、公明党の3会派は、2減を求める請願書が1票差で不採択となったことを踏まえ、議員定数を1減する条例案を提出しました。条例案は継続審査となり、次期定例議会(1月22日から3月5日)の本会議で採決が行われる見込みです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、市民生活は厳しさを増しています。議員定数を聖域化して保身を図ることは許されません。他市と同程度のコスト削減努力は必要ではないでしょうか。

多摩26市のうち、人口が11万人台~12万人台の4市における議員定数は以下の通りです。

	議員定数	人口 人	面積 km ²
国分寺市	22	126,225	11.46
小金井市	24	122,862	11.30
東久留米市	22	116,899	12.88
昭島市	22	113,780	17.34

※人口は令和2年10月1日現在

請願書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民会議(斉藤)、改革連合(篠原)。

請願書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

コロナ禍が直撃 市財政は未曾有の「崖っぷち」 庁舎建設は大幅コストダウン案に転換を

新型コロナウイルス感染症の影響による収支減や歳出増で、市財政は「崖っぷち」となることが現実視されています。したがって、庁舎建設の「コスト」の大幅削減が強く求められます。

私は、大幅なコストダウンに向けて、市長と全議員による円卓会議の設置を求めましたが、12月定例議会では、市長は設置するかどうかについて明言を避けました。

コストダウン求める陳情、不採択

市民団体が提出した「庁舎及び福祉会館建設について、設計を変更し、施工性を大幅に改善させ、建築費の大幅削減を行うことを求める陳情書」及び「庁舎及び福祉会館建設に関して、『コストダウン』『安全性確保』『地域環境の保全』の観点から、設計の抜本的見直しを求める陳情書」の2件に関しては、12月21日の本会議で採決に付され、賛成4反対19で不採択となりました。

「ひろば」確保の陳情も不採択



庁舎建設予定地は、小金井市当局も認めているとおり「公園空白エリア」に位置しています。よって、現在、庁舎建設予定地は、多くの子どもたちや地域住民に公園として利用されています。

西岡市長の計画では、満足な面積の「ひろば」は用意されず、しかも「ひろば」の位置は建物北側です。

市民団体が市議会に提出した「庁舎及び福祉会館建設について、設計を変更し、建物南側に安全で広々とした小金井らしい広場を整備することを求める陳情書」に関しては、12月21日の本会議で採決に付され、賛成4反対19で不採択となりました。

3件の陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、共産党(板倉・水上・たゆ)、

3件の陳情書に反対した議員

自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤) ネット(田頭)、改革連合(篠原)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

「比較検討」 求める陳情も不採択

10億円を超える余計なお金がかかる「市長案」に対して、市民団体と専門家が、大幅なコストダウンを可能にする「市民案」をとりまとめました。

市民団体からは「市議会において、新庁舎と(仮称)新福祉会館建設に関し、市長案と市民案の比較検討を求める陳情書」が提出されました。12月21日の本会議での採決結果は、賛成7反対15退席1で不採択でした。

「市民案」は、市役所の担当職員が「目から鱗(うろこ)が落ちた」と感嘆し、議会筋でも「これで問題が解決できる」と高い評価の声も上がった内容でした。数の論理で、「比較検討」を拒否するのは、理解に苦しみます。「比較検討」と、「市長案」の欠陥が明らかになるからでしょうか。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春)、共産党(板倉・水上・たゆ)。

陳情書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

退席(棄権)した議員

自民党信頼(清水)。

直接請求署名運動で計画転換を

市長や市議会の多数派が、市民の意向に反して巨額のムダ遣いを生む計画や市民の納得を得られない計画を強行しようとした場合、これに歯止めをかける制度が「住民投票を求める直接請求署名運動」です。小金井市でも過去に何度も実例があり、政策変更などの成果を上げています。

直接請求に必要な署名数は、有権者の2%以上ですので、有権者約10万人の小金井市にあっては約2000筆が必要となります。署名期間1か月です。

西岡市長は、来年度予算への建設費の計上はせず、6月議会への提出を考えていたようですが、不手際が相次ぎ、6月議会への提出はできなくなっています。

したがって、都議選終了後、7月の署名運動というスケジュールが想定されます。

庁舎建設は、市民の理解と納得を得られる内容で行うべきであり、行政や議会の暴走は許されません。